

## ① 為替

ドル円は弱含み。

3月米サプライマネジメント協会(ISM)製造業景気指数が46.3と予想の47.5を下回ったことを受け、米国国債利回りの低下とともに一時132.20円まで円高ドル安となっています。

46.3というのは2020年5月以来の低水準。

主要項目である新規受注は44.3と、かなり悪い状況です。

やはり、米国景気は相当悪化していると思われます。

2年国債利回りは再度3.9%台に、10年国債利回りも3.4%台に低下しています。

先日もお伝えしましたように、1ドル=133円台はドル売りのゾーンではないでしょうか。





## ② ベトナム VN 指数

じりじりと上昇してきています。

あまり早く上がって欲しくないのですが…



### ③ 原油・金

石油輸出国機構(OPEC)と非 OPEC 主要産油国で構成する「OPEC プラス」が発表した協調減産により原油が大幅に上昇。

80ドル台に乗せてきました。

原油価格は本当に読めませんね。

一方、ドル建て金価格は、ドル安により 2000ドル台に。

